

交換留学（派遣）帰国報告書

皆さんが無事留学を終えられたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。
- ② 今後、交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。
- ③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。

本報告書は帰国後1ヶ月以内に所属部局教務係に提出してください。

*各項目のスペースが足りない場合は、適宜スペースを足して記入してください。

本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、E-mailは公開されません。

氏名：

学籍番号：

e-mail：

留学先大学：Cardiff University

留学先での所属学部・研究科：Cardiff Business School (CARBS)

留学先での在籍身分：Business and Economics Exchange

留学期間：2018年 9月－2019年 6月

神戸大学での所属学部・研究科： 経営学部

学年（出発時）：3年

本報告書記入日：2019年 7月 15日

1. 留学先大学について

1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日： 10月 1日 (Enrolment week :9/24-9/28 オリエンテーション等、参加必須)

学年終了月日： 6月 14日

学期：

- ① 10月 1日～ 1月 27日 (Autumn semester)
- ② 1月 28日～ 6月 14日 (Spring semester)
- ③ 月 日～ 月 日
- ③ 月 日～ 月 日

1-2. 留学先大学の特長、人気のある分野等

ウェールズに位置する、イギリス国内での先進的な教育・研究大学として認められており、最新の施設や研究へのアプローチを、大学の歴史上得てきた研究成果や教えに取り入れながら授業を行っています。カーディフ大学ではMBA、建築学、生物化学が人気の学部です。特にMBAは、イギリス国内の学生だけでなく、留学生にも人気のあるコースです。

1-3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

カーディフ大学ではほとんどの授業が1年完結型であり、1年を通じて同じ科目を学ぶため、基本的には単位は7月の中旬に一括して出されます。ビジネスクラスではファイナンスからオペレーションマネジメントなど、幅広いカリキュラムが用意されています。留学生はLv5（2年生向け）とLv6（3年生向け）のどちらも受講可能です。クラスのサイズは授業によりますが、多いものだと200人を超える大規模なものもあります。また、講義形式のレクチャーの他に、tutorial が設けられている授業も多く、10-20人程度の比較的少人数のグループでレクチャーの深堀りやディスカッションを行います。成績評価は秋学期と春学期の成績を総合して出されます。

エッセイ、試験、グループプロジェクト等、成績評価方法は授業により異なりますが、秋学期はエッセイ、春学期は試験が多いような実感です。留学前は、留学ではプレゼンテーションやグループワークをたくさん行うイメージでしたが、カーディフ大学では individual task がほとんどでした。試験がメインとなる春学期は、試験期間前にイースター休みと試験準備タームが1カ月以上あります。その期間はどの学生も勉強に集中し、大学周辺の雰囲気も試験モードでした。

1-4. 履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数／週	留学先での単位数	履修している学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	Managing In Multicultural Organisations	Doering Heike Preminger Jonathan	2hr (lecture) 1hr (tutorial) (隔週)	20	60	Tutorial でかなり深い論点までディスカッションをするので参加は必須。 Culture の授業なので、ヨーロッパの文化など馴染みのない文化は理論を理解するのに少し時間がかかります。 秋学期のエッセイはクラス全体が厳しめに採点されていました。
2	Buyer Behaviour	Jamal Ahmad Lee Zoe	2hr (lecture) 1hr (tutorial) (隔週)	20	200	比較的単位が取りやすい授業とされています。これも tutorial の範囲が試験やエッセイテーマに直結するので、参加が必須です。
3	Marketing Research	Bosangit Carmela Jang Seongsoo	2hr (lecture) 1hr (tutorial) (隔週、春学期のみ)	20	50	毎回の授業が次の授業の前提になるので復習をしないと授業で後れをとってしまいます。 春学期のグループプロジェクトは実際に調査を行うのでかなり実践的でした。
4	Marketing And Strategy	Rosier Eleri Exton Matthew	2hr (lecture)	20	250	ケーススタディを多く扱います。また、授業の規模がかなり大きい上に tutorial も無いため、わからないことがあれば授業終わりに教授に質問し、疑問をこまめに潰すことが大切です。
5	Services Marketing	Daunt Kate	2hr (lecture)	20	150	Lv6 の授業でかなりレベルが高かったです。 エッセイ、試験ともに、授業で習ったことだけではなく、既習の内容や自分で身につけた知識をリンクさせて論述することが求められます。単語も専門用語が多くなるため、試験では辞書の持ち込みを検討してもいいかもしれません。
6	CARBS UGX Language Support	Alexander Bedborough	2hr			第一言語が英語以外の学生向けの授業です。単位は出ませんが、試験や課題で求められるアカデミックなライティングやリーディングを扱います。

7						
8						
9						
10						

1-5. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート：

上記の通り、第一言語が英語ではない学生向けに **Academic English** の授業が開講されています。

勉学面でのサポート：

Personal Tutor の教授が勉学面に不安があれば相談に乗ってくれます。また、どの授業にも **office hour** が設けられ、各授業の担当教授が授業に関する質問や勉強の仕方そのものの質問など、あらゆる相談に乗ってくれます。

精神面でのサポート：

生徒一人一人に **Personal Tutor** がつくのに加え、留学生には学生 **tutor** がつきます。

学生 **tutor** とは定期的にミーティングがあり、勉強面だけではなく精神面についても、悩みごとがあればいつでも相談に乗ってくれます。

住居・生活面でのサポート：

留學生活中、お湯が出なくなったりシャワーホースから水が漏れたりキッチンの排水溝が詰まったりと、水回りのトラブルが何度かありました。**Residence Office** にコンタクトを取り修理を依頼しましたが、いずれの場合も修理に来るのに1日～2日かかるなど、迅速な対応ではありませんでした。

課外活動のサポート：

200以上の **Society**（サークル）があり、部活動やサークルなどの課外活動は活発であったように感じます。

1-6. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。

はい いいえ

2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。（気をつけること等）

大学が提供している寮であれば基本的には不自由なく生活できると思います。私が住んでいた寮はビジネススクールから徒歩2分のところにあり、立地面はかなり便利でした。しかし、イギリス人や1年生が中心で留学生同士の交流が活発な寮ではなかったため、留学生の友人を作るのが周りに比べて難しく、少し苦勞しました。

3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

付帯海学

また、現地で加入した保険があれば、ご記入ください。
ありません

3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況： 日本から持参した 現地で購入した 保有しなかった

住居内のインターネットへの接続の可否： 接続できた 接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。
無料で学内の無線LAN（EDUROAM）に接続できました

大学でのPCの使用の可否： 使用できた 使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。
図書館に学生が使用できるPCがあります。日本語環境はありません。

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。
特に病院には通いませんでした。

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。
入国してすぐぐらいの時期にインフルエンザが流行っていました。マスクを着用する文化が無いので、自宅で手洗いうがいを徹底することが大切です。お風呂やトイレがシェアの場合は衛生的な面でお互いが気持ちよく生活できるようにコミュニケーションをとることが大切です。

3-4. 銀行口座について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。

（現地で口座開設、キャッシュパスポート利用等）

寮費や携帯料金、イギリス国内のサービスを利用するにはイギリス国内で口座を開設しなければなりません。Enrolment weekの期間に複数の銀行が新生生の口座開設手続きを大学で行っています。
寮費や携帯料金の支払い以外はデビットカードとキャッシュパスポートで生活していました。現金を持ち歩く習慣はほぼありませんでした。

3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。

授業や課題等、学業面では時間に厳しい一方で、遊びや課外活動ではかなり時間にルーズで、1日の予定がコロコロ変わることもしばしばでした。最初は受け入れるのに時間がかかりました。

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。

高校時代の友人が2018年の2月までカーディフにある語学学校で留学していたこともあり、そのつながりで語学学校の学生と定期的に遊んでいました。（韓国人）

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。

10月の1カ月間、知人の紹介で日本食品や韓国食品を扱うスーパーマーケットでお手伝いをしていました。

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）

治安はかなり良く、住みやすい街だと思います。6月の中旬に自宅近くで殺人事件があり、その時は少し雰囲気もピリピリしていましたが、基本的には治安も良いと思います。

留学生もかなりいますが、レイシストは一定数います。街を歩いていると差別的な言葉を浴びることも少

なくありません。

3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

ボストンキャリアフォーラムとロンドンキャリアフォーラムに参加しました。KIMERA プログラムへの進学を視野に入れていたこともあり、就職活動の雰囲気を楽しむ程度の気持ちで参加しました。

4. 経費について

4-1. 留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

航空運賃：往復 260,000

住居費（月額×留学月数）：75,000*10 カ月

食費（月額×留学月数）：30,000*10 カ月

保険料：80,000 程度

その他：旅行費 200,000、その他生活費 15,000*10 カ月

計： 1,740,000 円（留学期間全体の費用）

4-2. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

(財団等名) 業務スーパージャパンドリーム財団 , 150,000 円/月
その他（渡航費等の支給） 0 円

5. アドバイス及び感想

5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

電卓（留学先で就職活動をする場合は特に）

5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。

（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：(TOEFL 等試験の名前) 点→帰国後 () 点

語学力の向上はもちろんですが、第一言語が英語の国に留学したことで、カジュアルな英語、若者言葉、流行語など、「生きた英語」に触れることができたように思います。

また、自分と向き合う時間が増え、じっくりと自分自身を見つめなおすことができた、貴重な1年間だったように思います。将来は日本にとどまることなく、英語をツールにグローバルに、世界で必要とされるような人間として活躍したいと思うようになりました。1年間英語を使って生活し、さまざまなことに挑戦し、乗り越えたこの経験のおかげで、「世界で活躍したい」という将来のキャリアパスが単なる理想から実現可能な目標になったと思います。

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

やはり、日本でも海外でも人間関係の構築の難しさに気づかされました。西洋とアジアという正反対のバックグラウンドを持つ中で、お互いの当たり前が相手の当たり前ではないことは頭では分かっているけど、100%相手を肯定することはすぐにはできることではありませんでした。また、同時に人間関係の繊細さであったり脆さのようなものにも気づかされました。お互いにとって気持ちの良い人間関係を築き上げるうえで、相手を理解しようとする気持ち、自分自身を自分自身がしっかりフォローしてあげることが大切であると学びました。

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

KIBER プログラムの授業を始め、留学中の教務課からの定期的なメールなど、手厚いサポートのおかげで無事に留学生生活を終えることができました。

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。大学生という貴重な時間のうちの1年を海外で過ごすことのメリットはかなり大きいと思います。社会に出て働く前に世界を知り、自分を知ることができたのは、自分にとってかなり大きいことだったように感じます。また、留学生生活そのものだけではなく、KIBER プログラムの授業で留学前に1年かけて準備ができる環境があったことも、留学生生活を充実させることができた1つの要素でした。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。

（5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価）

- ・留学先大学の授業の「質」（内容、レベル等）に満足しましたか： 4
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 4
- ・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 5
- ・住居の「質」（広さ、料金等）に満足しましたか： 3
- ・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか： 4
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 5
- ・留学全体の総合的な評価： 4

5-8. その他 自由に記入してください。

一連のプログラムを終え、一回りも二回りも成長できたように感じます。世界に出てビジネスを勉強したことで、自身の不十分さに気づかされ、もっと深く勉強がしてみたいという意欲もわきました。KIMERA プログラムに進学ができた際には、英語スキル、ビジネススキルともに現状で満足することなく、高みを目指して勉学に励みたいと思います。

6. 留学経験の共有について

あなた自身の写真や大学キャンパス等の写真があれば、ぜひ報告書に添付して送ってください。
(デジタル画像をお願いします。)

6-1. 神戸大学では所属部局教務係及び国際交流課にて、留学を考えている学生のために報告書を閲覧できるように保管します。あなたは、本報告書を閲覧資料とすることに同意しますか。（あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません。）

*担当部署（所属部局又は国際交流課）が本報告書の原本を保管します。あなたが閲覧資料にすることに同意しない場合であっても、あなたの状況等を把握するために及び本プログラムを改善するために、学内の関係部署に転送することがあります。

はい

いいえ

6-2. あなたの本報告書の一部を引用して、本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか。

はい

いいえ

6-3. もし写真を提出する場合、あなたの写真を報告書とともに閲覧資料にすることに同意しますか。

はい

いいえ

6-4. もし写真を提出する場合、あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか。

はい

いいえ

6-5. 国際教育総合センターが実施する「海外留学フェア」にご協力いただけますか。（留学体験を発表するなど）

*ご協力いただける場合、後日、留学生センター教員よりあなたに連絡することがあります。

はい

いいえ

ご協力ありがとうございました。本報告書は大変有益な資料となります。

本報告書の提出先は以下のとおりです。**原則として e-mail で提出してください。**もし、e-mail を使用できない場合は、郵送又はファックスで提出願います。

経営学研究科学部・大学院教務係 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 2-1

bkyomu@b.kobe-u.ac.jp